

科目番号	50006	分類	共通科目	履修者	看護学研究科(共通科目)	学年			
科目名	ラボラトリー・メソッド特論 (Advanced Course of Laboratory Method)					1			
						配当セクター			
						前期			
担当者	小宇田智子 他2名			区分	選択	単位	2	時間数	30
授業の概要および目標							学位授与の方針との関連		
【概要・目標】 ヒトの健康像および病態を理解する上で必要な医学・生物学の知識を得るための知識および手法を教授する。臨床現場で使われている手法や最新の科学研究で使われている手法を用い、個体、組織、遺伝子および分子レベルでの生命現象について理解することを目標とする。								1.	患者・患者家族のニーズに自律的に対応できる実践能力
								2.	患者の擁護者として活動できる倫理的意思決定能力
							○	3.	看護・看護学の発展・進化に寄与し社会・時代のニーズに対応した創造的な研究・開発能力
							○	4.	多職種と連携・協働して行われるチーム医療の中で看護職としてのリーダーシップを発揮できる能力
授 業 計 画									
回	内 容								担当教員
第1・2回	解剖学(ラット解剖)								小宇田 他2名
第3・4回	病理学(正常および病理組織の作成・観察)								
第5・6回	遺伝学(染色体の観察)								
第7~9回	分子生物学(リアルタイムPCR法による遺伝子定量)								
第10・11回	細菌学(グラム染色)								
第12・13回	臨床化学(ヘモグロビン濃度、トリグリセライド濃度の測定)								
第14・15回	放射線測定								
事前・事後学習	事前学習関連する授業内容を復習し、必要な知識・技術を確認し臨むこと。 事後学習自己の課題を踏まえ、授業で得た知識・技術の定着に向け復習すること。 単位と時間数に応じた学習時間(学生便覧参照)を参考に取り組むこと。								
評価の方法	出席・参加状況によって評価する。また適宜レポートの提出を求められることがある。 フィードバックは適宜行う。								
参考図書・資料等	適宜、紹介する。								
備 考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。								